

- 震災から10年余りが経過し、避難指示区域の縮小、インフラの復旧、多様な拠点の整備、県産品の国内外における高い評価など、本県の復興は着実に前進。
- 一方、ALPS処理水の問題も含め、複合災害に伴う多くの困難な課題に直面しており、中長期的な取組が不可欠。
- 今後も国・市町村と一体となり「第2期復興・創生期間」における復興のあゆみを着実に進めるため、特に以下の点について訴えていく必要がある。

## 《 現状 ・ 課題 》

- **ALPS処理水の処分に係る基本方針の決定 (R3.4)**  
⇒ 福島だけでなく、日本全体の問題であり、県民の努力や成果が水泡に帰すことのないよう、国が前面に立ち、万全な対策を講じる必要
- **第2期福島県復興計画の策定 (R3.3.29)**  
【基本目標】
  - (1) 避難地域等の着実な復興・再生
  - (2) 未来を担う人材の育成・人とのつながりの醸成
  - (3) 安全・安心に暮らせる地域社会づくりの実現
  - (4) 持続可能で魅力的なしごとづくりの推進
- **福島復興再生特別措置法関連**
  - 福島復興再生基本方針の閣議決定 (R3.3.26)
  - 福島復興再生計画の内閣総理大臣認定 (R3.4.9)
  - 【目標】
    - (1) 安全で安心して暮らすことのできる生活環境の実現
    - (2) 地域経済の再生
    - (3) 地域社会の再生
- **避難地域・被災者関連**
  - 避難者数の推移  
・164,865人 (H24.5) ⇒ 35,092人 (R3.6)
  - JFAアカデミー福島 (男子) の再開 (R3.4)
  - ふくしま12市町村移住センター開所 (R3.7)
- **風評・風化対策関連**
  - 令和2年度オンラインストア 売上30億円突破
  - 「ふくしま知らなかった大使」任命 (R3.2)
  - 全国新酒鑑評会8回連続日本一 (R3.5)
- **福島イノベーション・コースト構想関連**
  - 東日本大震災・原子力災害伝承館の開館 (R2.9)
  - 「国際教育研究拠点について」復興推進会議決定 (R2.12.18)
- **インフラ等環境整備関連**
  - 相馬福島道路全線開通 (R3.4)
  - 常磐自動車道いわき中央IC～広野IC間4車線化 (R3.6)



## 《 特に訴えるべき視点 》

### 【第2期復興・創生期間のふくしまの復興・創生】

- ⇒ ALPS処理水の処分に係る国の責任ある対応
- ⇒ 国際教育研究拠点の実現
- ⇒ 帰還困難区域の復興・再生
- ⇒ 新型コロナウイルス感染症への対応と復興・再生の両立

### 1. 避難地域の復興・再生

- ⇒ 移住・定住の促進、交流・関係人口の拡大等に向けた支援
- ⇒ 事業・生業の再生、営農再開に向けた支援、教育環境の整備・充実
- ⇒ 保健・医療、福祉・介護サービス提供体制の再構築

### 2. 風評払拭・風化防止対策の強化

- ⇒ 正確な情報発信・万全な風評対策
- ⇒ 農林水産物の安全確保と風評対策、産地競争力の強化
- ⇒ 国内外からの誘客促進等の取組に対する支援

### 3. 福島イノベーション・コースト構想の推進

- ⇒ 研究開発の推進・産業集積促進、構想を支える教育・人材育成
- ⇒ 浜通り地域等への交流人口・消費の拡大及び生活環境の整備促進
- ⇒ 拠点の運営への支援、福島イノベーション・コースト構想推進機構への支援

### 4. 新産業の創出及び地域産業の再生

- ⇒ 再生可能エネルギー先駆けの地及び福島新工ネ社会構想の実現
- ⇒ 医療・航空宇宙・ロボット関連産業等の集積と産業の再生に向けた支援
- ⇒ 農林水産業の再生に向けた支援

### 5. 復興を支えるインフラ等の環境整備

- ⇒ 社会資本の整備に係る予算確保
- ⇒ 放射性物質対策の確実な実施
- ⇒ 中間貯蔵施設・特定廃棄物埋立処分施設等への対応